

千葉の園芸

発行所 千葉市中央区市場町1-1
公益社団法人千葉県園芸協会
連絡先 043(223)3005
発行日 毎月1日
令和6年10月号

魅力ある品種を広めて千葉の野菜の価値を高める新たなチャレンジ

公益社団法人 千葉県園芸協会
専務理事兼総務企画部長 石家 健生

千葉県園芸協会の正会員である日本種苗協会千葉県支部（以下「日種協千葉県支部」）主催のワークショップ（グループ討議）を契機に、県内直売所において、日種協千葉県支部の会員がお勧めする特長ある品種の魅力アピールしながら販売し、千葉の野菜の価値を高める新たなプロジェクトが始まりました。

1. はじめに

この取組は、本県の農業産出額が全国6位に後退し、農産物価格の低迷や資材価格の高騰など産地に危機感が高まっていた令和5年1月に、日種協千葉県支部の越部理事から「野菜の価値を高めるための取組を議論したい」との申し入れから始まりました。その後、令和5年6月の日種協千葉県支部総会時に、県や園芸協会の職員を交えたワークショップを行い、その結果を基に、園芸協会が以下のプロジェクト案を取りまとめ、今年度の実施に至りました。

2. 野菜の価値を高めるプロジェクトの概要

(1) 事業の概要

日種協千葉県支部の会員がお勧めする価値のある品種・品目を県内の直売所に提案し、その価値（美味しさ、便利さ、環境への貢献など）をアピールしながら、価値に見合った価格での販売を進める。

(2) 意義

- ①直売所を活用することで消費者に直接価値をアピールできる
- ②農家、直売所、関係事業者の売上アップ
- ③千葉の野菜のイメージアップ
- ④消費者・生産者の評価が良ければ市場出荷に繋げ産地全体への波及も可能

3. 今年度の実施状況

(1) 実施直売所

1年目は試験的な実施とし、運営主体や地域性を考慮の上、趣旨に賛同を得た次の7直売所としました。
①JA八千代市ファーマーズマーケット「よったいよ」
②道の駅やちよ③農産物直売所かしわで④道の駅・水の郷さわら⑤道の駅くりもと「紅小町の郷」⑥JA山武郡市「山武緑の風」⑦JA長生ながいき市場

(2) 対象品種

日種協千葉県支部の会員から参加希望のあった品種について、県、日種協千葉県支部、園芸協会の担当者で協議し、ミニトマト、コマツナ、ホウレンソ

ウ、スティックカリフラワー、ニンジン、スイートコーン、ナス、ピーマン、パプリカ、キュウリ、メロン、ハクサイ、ダイコン、カブ、キャベツ、インゲン、スナップエンドウ、ソラマメ、タマネギ、中玉トマト、ザーサイの21品目、33品種としました。

(3) 生産者への栽培支援

生産者は栽培の上手な方に限定し、種子は無償で配付しました。併せてアンケート用紙を配付し、当該品種の生産者評価を調査しました。また、栽培をサポートするため、種苗会社が作成した栽培指導の動画等を園芸協会のホームページに掲載しました。

(4) 消費者への品種PRと評価の把握

チーバくんマークと品種の特長を記したシール（右図参照）を園芸協会で作成、生産者に配付し、小袋に貼付して販売しています。また、消費者の評価を把握するため、QRコードを活用し、抽選で野菜セットが当たるアンケートを実施中です。



4. これからの取組

日種協千葉県支部では、今年7月の総会でもワークショップを行い、今後は収穫体験等の食育要素も加え、この取組を進めていきたい等の提案がありました。園芸協会では、野菜の持つ様々な価値を多くの消費者に認知して頂き、生産者や関係事業者の収益確保に繋がるよう、こうした取組を県や農業団体、JA、市町村等の会員の皆様と連携して進めていきたいと考えています。



JA八千代市「よったいよ」の種なしピーマン販売風景。小袋に品種PRシールを貼付、ポップはJA八千代市作成



令和7年4月から農地の貸し借りは原則農地中間管理機構経由となります！

千葉県農林水産部農地・農村振興課
農地集積推進室 副主査 片山 敬生

市町村が作成する農用地利用集積計画による農地所有者と耕作者間の農地の貸し借りは、令和6年度末で利用ができなくなります。令和7年度以降の農地の貸し借りは、原則農地中間管理機構を経由する農用地利用集積等促進計画により行うこととなります。

1. 農地中間管理事業と改正法について

千葉県では農地の集積・集約化を進めるため、平成26年に公益社団法人千葉県園芸協会を農地中間管理機構（以下、「機構」という。）として指定しています。

令和5年4月に、農業経営基盤強化促進法等の一部を改正する法律が施行されました。この法改正によって、市町村が作成する農用地利用集積計画による農地の貸し借りの制度は廃止となり、機構を経由する農用地利用集積等促進計画による農地の貸し借り制度（農地中間管理事業）を中心に農地の集積・集約化を進めることとされました。（農用地利用集積計画による農地の貸し借りは令和7年3月までは経過措置として活用可能です。）

なお、令和6年度末までに地域計画が策定された地域においては、農用地利用集積計画による農地の貸し借りはできなくなり、農地中間管理事業による農地の貸し借りが原則となります。（農地法による農地の貸し借り（※）は従来どおり行うことができます。）

※農地法第3条に基づく農業委員会の許可により農地の権利移動を行う農地の貸し借り

2. 地域計画（目標地図）との関係について

農地中間管理事業は、地域計画を策定した地域で重点的に実施することとなります。

地域計画とは、地域の農業者や関係機関の話し合いに基づき市町村が策定する、農地一筆単位で将来（10年後）の耕作者を定める農地利用の「目標地図」を含む、目指すべき将来の農地利用の姿を明確に

する計画であり、市街化区域等を除く区域において、令和6年度末までの2年間で策定する必要があります。

機構は、策定された地域計画（目標地図）に基づき、その達成に資するよう農用地利用集積等促進計画による農地の貸し借りを進めます。

なお、地域計画を策定していない地域においても農地中間管理事業を実施することは可能で、この場合は農業委員会からの要請又は、市町村が農用地利用集積等促進計画の案を機構に提出することとされています。

3. 農地中間管理事業の各種メリット

農地中間管理事業には、以下のメリットがあります。

表 農地所有者及び耕作者のメリット

農地所有者	耕作者
<ul style="list-style-type: none"> ・賃料は機構から確実に振り込まれる ・貸した農地は貸付期間終了後に返却される（更新も可能） ・機構に貸し付けた農地について、条件を満たせば税制優遇が受けられる 	<ul style="list-style-type: none"> ・まとまった農地を長期間・安定的に借受できる ・複数農地所有者の農地を借り受ける場合であっても、賃料は機構に一括して支払い可能 ・農地所有者の相続時の対応は機構が行ってくれる

また、条件を満たせば農地の集積・集約化の取組に対する機構集積協力金の交付を地域で受けられるなどのメリットがあります。

4. 留意点

農用地利用集積計画による農地の貸し借りが継続中の契約は、令和7年4月を迎えてもその契約期間を満了するまで契約は存続します。

根拠法	権利移動の手段	公告・許可権者	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
機構法 （農地中間管理事業）	促進計画の認可・公告（機構）	県（市町村）※ ※権限移譲を受けた市町村	継続	地域計画の区域で重点的に事業実施		
旧基盤法	集積計画の決定・公告	市町村	継続	経過措置として実施可※ ※地域計画を策定した地域は、経過措置が適用されない		
農地法	3条許可	農業委員会	継続			

図 農地の貸し借り等における各種法制度

※機構法：農地中間管理事業の推進に関する法律
促進計画：農用地利用集積等促進計画

基盤法：農業経営基盤強化促進法
集積計画：農用地利用集積計画



甘熟イチジク栽培の軌跡 ～イチジク農家の挑戦～

千葉県香取農業事務所 改良普及課
普及技術員 来栖 佳緯

今年でイチジク栽培 26 年目を迎える「みずうみ農園」では、栽培当初より良食味を目指し独自の栽培体系を構築してきました。6次産業化の取組に加え、完熟イチジクを遠方に販売するための輸送体系の確立、企業との連携などにも積極的に取り組んでいます。

1. 香取市におけるイチジク栽培

香取市では、昭和 40 年代の利根川北岸の水田地帯の土地改良をきっかけに、水田転換作物としてイチジクが導入され、組織的な栽培が始まりました。平成 21 年には、離職就農者を中心にイチジク栽培に取り組む人が増えたことを発端として「香取市いちじく研究会」が設立されました。現在の栽培面積は 129a です。

2. みずうみ農園について



園主 水海 清さん

みずうみ農園の園主 水海清さんは香取市いちじく研究会の初代会長で、イチジク栽培歴は 25 年、地域のリーダー的生産者です。「自信のないものは売らない」をモットーに、ハウス 10a、露地 30a を栽培しています。品種構成は、柘井ドーフィン 90% コナドリア 10%です。平成

31 年には、みずうみ農園ブランドとして「水郷の恵甘熟いちじく」を商標登録しました。有機質資材を使った栽培、減農薬に努め、ちばエコ認証も取得しています。栽培における一番のこだわりは、竹林から切り出して作る竹の発酵パウダーです。このパウダーを米ぬかと混ぜて発酵させたものを肥料に混ぜ込むことで、味が濃厚になり、糖度も上昇し、最高で糖度 22 度を記録しています。

3. 廃棄イチジクの6次化への取組

栽培を始めた 25 年前は販売先が少なく、売れずに大量の廃棄が出ていました。そこで、水海さんは廃棄されるイチジクを活用して、ジャム作りを始めました。現在ではジャムに加え、ワイン煮のほか乾燥機を導入してドライフルーツ加工も自ら行い、近隣の道の駅で販売しています。

4. 遠方への輸送体系の確立

平成 22 年頃から、近所の直売所で販売を始めたところ、口コミで評判となり、贈答品の注文が増え始めました。しかし、既存の梱包方法では傷みが生じやすく、遠方への販売に苦慮していました。そこで、資材メーカーと共同で輸送用の梱包資材の開発を始め、平成 24 年に柘井ドーフィンに最適な梱包資材「パラダイスカップ」が誕生しました。これで傷みのない輸送が可能となり、北海道から沖縄までの販路が拡大しました。

5. 企業との連携



いちじくロールケーキ

規格外品が多く発生した年に、ジャム用の冷凍イチジクが在庫過多となりました。この冷凍イチジクを近隣のケーキ店に使ってもらおうと相談したことが、飲食店などの企業との取引のきっかけとなりました。その後、水海さんのイチジクの美味しさが口コミで広がり、現在では取引先は 9 社に拡大しました。各社の評価は高く、注文数は毎年増加しています。

6. 更なる安定生産に向けて

年々注文数が増加していますが、近年の天候不順で収量が安定していません。水海さんは天候不順に耐えられるような良い樹を作るために、微生物資材の活用や、新しい栽培方法の模索などを農業事務所と一緒にしています。

香取農業事務所では、水海さんのイチジク栽培を通じて、地域のイチジク栽培技術の底上げを図るとともに、香取のイチジクのブランド化のための支援を行っていきます。



ハウス冬どりコマツナの優良品種

千葉県農林総合研究センター
野菜研究室 研究員 庄山 拓磨

11月上旬播種のコマツナを対象に第71回千葉県野菜品種審査会を開催しました。株の揃いが良く、葉色が濃い「SC5-040」((株)サカタのタネ)を始めとした6品種を優良品種として選定しました。

1. はじめに

千葉県のコマツナは、令和4年産の産出額は12億円で、全国7位の産地となっています(令和4年生産農業所得統計)。ハウス冬どり栽培では、寒冬の年でも生育が早く低温伸張性と外観品質の良さを併せ持つ品種が望まれています。

そこで、令和5年に県内の主要な作型の1つである、年末年始の消費者需要をターゲットとしたハウス冬どり栽培において、第71回千葉県野菜品種審査会として品種選定試験を行いましたので、結果を紹介します。

2. 生育は前進傾向

試験は当センターのパイプハウスで19品種を供試しました。施肥は全量基肥とし、窒素、リン酸及び加里をそれぞれ10a当たり10kg施用しました。播種は11月1日にシードテープで6条(条間15cm×株間4cm)1粒播きとしました。

栽培期間全体を通して、気温が高く推移したことに加え、日照時間も長かったことから生育が前進傾向にありました。

3. 6品種が入賞

収穫と審査は12月22日に行いました。出品された19品種について、18名の審査員により、立毛(草姿・草勢・生育の揃いなどの生育状況、病害・生理

障害の有無)と収穫物(外観・品質・揃い・収量性)が審査されました。その結果、「SC5-040」(写真)など6品種が入賞となりました。

入賞品種はいずれもSPAD値が50以上と葉色が濃く、株の大きさの揃いが良好で、株張りも大きいことから収量性が高いと考えられます。また、平年よりも気温が高く、出品品種全体を通して生育が良好だったこともあり低温伸張性の評価は難しいものの、いずれの品種も目立った生理障害は見られず、外観品質は良好でした。



写真 1位の「SC5-040」

4. おわりに

入賞した6品種は、株張りが良く、多収で葉色が濃く普及性の高い品種です。安定的なコマツナ生産に向けた品種選択の参考にして頂ければ幸いです。

表 入賞品種の特性

順位	品種名	出品社名	得点			1株重 (g/株)	葉数 (枚/株)	最大葉長 (cm)	葉色 (SPAD値)
			立毛	収穫物	合計				
1	SC5-040	(株)サカタのタネ	67.2	100.0	167.2	36	6.4	28.6	55.5
2	R1-161	トキタ種苗(株)	64.6	99.2	163.8	45	6.8	28.9	53.7
3	冬の豪速球	トキタ種苗(株)	66.4	96.9	163.3	38	5.3	31.7	59.5
3	R1-699	トキタ種苗(株)	67.0	96.3	163.3	37	5.3	30.3	54.3
5	MS1397	(株)武蔵野種苗園	64.6	98.6	163.2	46	6.6	31.5	50.5
6	はなみち	野原種苗(株)	65.1	96.7	161.8	42	7.4	30.0	52.3

注1) 立毛審査100点、収穫物審査100点、合計200点満点

2) 1株重は子葉と下位葉1枚を除いて計測

3) 葉色は数値の大きいものほど緑色が濃い



鳥取県と連携した梨のPRについて

千葉県農林水産部販売輸出戦略課

9月3日（火）に伊勢丹新宿店で行われた「鳥取県の二十世紀梨導入120周年記念 PR イベント」において、千葉県知事と鳥取県知事が連携して両県の梨のトップセールスを行いました。

本イベントは、千葉県で発見された「二十世紀」梨が鳥取県に導入されてから120年が経つことを記念して行われたものであり、「二十世紀」梨の流れを汲む千葉県産「豊水」と鳥取県産「二十世紀」梨の食べ比べセットが販売されました。

当日はたくさんのお客様や報道関係者がお越しになり、改めて千葉県が歴史ある梨栽培の産地であることをPRする良い機会になりました。



“千葉なし味自慢コンテスト” 開催結果

千葉県農林水産部生産振興課

8月31日（土）～9月1日（日）に習志野市のイオンモール津田沼において「千葉なし味自慢コンテスト」を開催しました。今回は、県内の20団体から「豊水」124点の出品がありました。

1日目の専門家による厳正な審査により、上位3賞が決定されました。

コンテストに出品された選りすぐりの梨は2日目に即売され、糖度も高く品質の良い「豊水」の美味しさを消費者の皆様にご存知いただく機会となりました。

賞 名	所 属 組 合 名	氏 名
農林水産大臣賞	船橋市果樹園芸組合	植草 学
千葉県知事賞	柏市果樹組合	小川 克己
農林水産省農産局長賞	松戸市梨研究会	三浦 亮介



一日目 審査の様子



二日目 開会式

「ちばまるしえキャンペーン2024」開催中！

千葉県農林水産部農地・農村振興課

県では、県産農林水産物が多く出回る秋から冬にかけて、多くの人に県内の直売所や道の駅、収穫体験施設などを訪れていただくため、昨年度に引き続き「ちばまるしえキャンペーン」を開催しています。

キャンペーンの内容としては、対象施設2か所以上を巡って商品の購入や施設を利用したレシートを添付して応募すると、抽選で宿泊ペアチケットや県産農林水産物等が当たります。応募は、応募ハガキまたはWEBページから受け付けます。

千葉県公式観光サイト「ちば観光ナビ」内のキャンペーンページでは応募フォームの他、参加施設や賞品紹介をしていますので、ぜひ御覧ください。

この機会に、利用したことのない施設にも足を運んでいただくとともに、たくさんの御応募をお待ちしております。

【期 間】 令和6年9月2日(月)～令和6年12月2日(月)

【問合せ先】 千葉県農林水産部農地・農村振興課
電話 043-223-2963



詳細については「ちばまるしえキャンペーン2024」で検索！



千葉県立農業大学の学園祭 第45回「社稷祭」を開催

千葉県立農業大学校

令和6年11月9日(土)9時～13時、10日(日)9時～12時 「社稷祭」を開催します。

本年は、5年ぶりの2日間開催です。本校農場にて生産した農畜産物の即売をはじめ、芋掘り体験(有料)、山羊ふれあいコーナー、昆虫展、模擬店での軽食販売などを実施します。

御来場いただいた皆様に喜んでもらえるよう、学生は丹精込めて作物、野菜、果樹、花きなどの栽培及び加工品の生産に励んでいます。

また、学生の取り組んでいる研究内容等については、各専攻教室にてパネルを作成し、展示する予定です。栽培技術から農大で開発した新技術の研究まで、多岐にわたる研究テーマについて御覧いただけます。

【開催場所】 千葉県立農業大学校
〒283-0001 東金市家之子 1059

【問合せ先】 TEL: 0475-52-5121

【千葉農大ホームページ】
<https://www.pref.chiba.lg.jp/noudai/>



※詳しくはこちら



※写真は昨年の様子です。